

4回 シリーズ

詳しくは裏面をご覧ください

信州自遊塾第32回講座

何がちがうの？ 日本とドイツ

ドイツから学ぼう



第1回

「ドイツの暮らしと日本の暮らし」

2018年4月8日(日)

14時～16時 13:30開場

松本市中央公民館Mウイング 3-2[定員90名]

〒390-0811 松本市中央1-18-1

主催: 信州自遊塾

〒399-8101 安曇野市三郷明盛1500-13 E-mail: info@jiyujuku.org

共催: 長野県日独協会

〒380-0824 長野市南石堂町1293-3 長栄町石堂ビル3F あがたグローバル 税理士法人内.

TEL: 026-217-2020

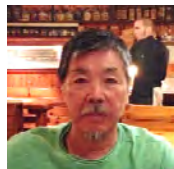
後援: 松本市・安曇野市・塩尻市・信濃毎日新聞社・市民タイムス

designed by freepik.com

4回シリーズ 何がちがうの？日本とドイツ — ドイツから学ぼう —

ドイツといえば、マジメで勤勉な国民性が日本と似ていると言われます。日本はかつてドイツから立憲制度・西洋医学・哲学・文学・ものづくり・山岳スポーツなどを学び、多くの影響を受けてきました。そのドイツに、いま改めて目を向けてみると、戦後処理、教育、働き方、環境やエネルギー問題、平和についての考え方などに日本との違いがあるのではないかとこのことに気づきます。

4回のシリーズを通して、食や音楽などの楽しみも交えながら、多方面からドイツと日本の違いを見つめ、私たちの暮らしに活かせることは何かを一緒に考えてみませんか？ ドイツ在住者やドイツに詳しい人からのお話しをお楽しみに！



山本 淳さん(やまもとじゅん)
1968年大学在学中(19歳)ドイツに渡り
アビトゥーア資格試験を受け 翌年ミュン
ヘン大学に入学。2年後、西ベルリンの自
由大学に転校。1981年同大学にて宗教
哲学で学位を取得後、帰国。欧州滞在
中は、ミュンヘン、西ベルリンほか、ロンドン、チューリヒの大学で哲学を中心に民俗学、美学を学ぶ。1986～2015年 豊橋技術大学で哲学のほか、ドイツ語、美学を教える。2004年からDADD奨学生選考委員(哲学担当)を5年間務める。現在は、豊橋技術大学名誉教授。日本での最近の出版『オイディプスのいる町』他、ドイツでも出版多数。



第2部パネリスト 丸山雅秋さん
彫刻家 長野県日独協会専務理事
国立ミラノ・ブレラ美術アカデミー彫刻科卒
安曇野市在住



第2部パネリスト ハインリヒ・トマス・ロニーさん
ドイツ語翻訳者・教師 旧東ドイツ ケムニッツ生
社会人経験後、ライプツヒ大学で日本学を学び、
卒業後来日。日本在住歴8年、松本市在住。



コーディネーター 松本 猛さん
信州自遊塾塾長
ちひろ美術館常任顧問・作家・美術評論家
横浜美術大学客員教授

第1回 「ドイツの暮らしと日本の暮らし」

2018年4月 8日(日)

14時～16時 13:30開場

松本市中央公民館 Mウイング 3-2[定員90名]

〒390-0811 松本市中央1-18-1

【第1部】

豊橋技術大学名誉教授 山本 淳さんのお話

「ドイツで学び、生活して」

戦後ドイツの青年たち、家族、仕事、政治、環境問題などなど

【第2部】 トークセッション

「何がちがうの？日本とドイツ・総論」

山本さん・丸山雅秋さん・ハインリヒ・トマス・ロニーさん・松本 猛さん

第2回のテーマ「平和・教育・戦後処理」

メインスピーカー **那須田 淳さん**

ベルリン在住児童文学作家

6月9日(土)!

ケストナーの生涯を軸に、現在ギムナジウム(ヨーロッパの中等教育機関)に通う娘さんたちの現場のお話を交えて、ドイツの教育と戦後処理などを、生活者レベルのスタンスで語っていただきます。乞うご期待!!

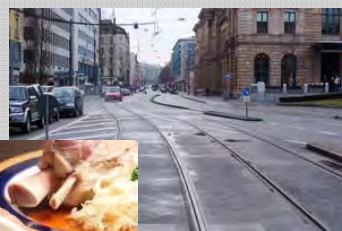
第3回 ■ 8月 第3回

「食とビール・音楽で楽しむ会」

第4回 ■ 11月 第4回

「環境・自然エネルギー・原発」

詳細は順次公開、HPでもお知らせします。(信州自遊塾で検索!)



参加費 信州自遊塾会員・長野県日独協会会員 無料 / 一般 500円

問合せ
申込み

090-4463-6182(くぼた) 090-4911-8209(まつもと)
信州自遊塾HP<http://www.jiyujuku.org/>「講座申し
込みフォーム」or FAX 0263-77-5437
(一般の方は連絡先をご記入ください)

～これからの人間の生き方を考えよう～

信州自遊塾

<http://www.jiyujuku.org/>